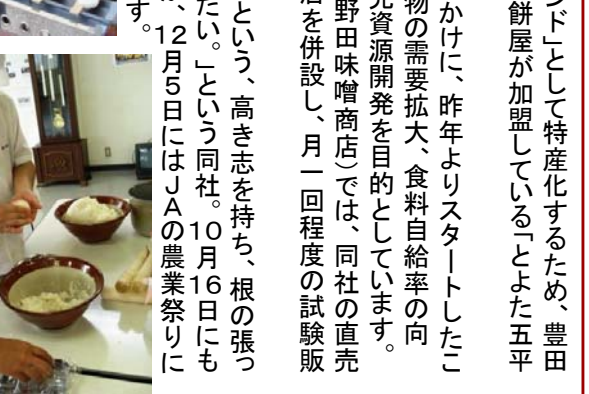
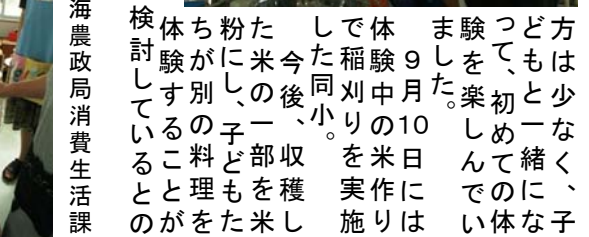


体験！「みたらしだんご」づくり 西尾市立八ッ面小学校



西尾市立八ッ面小学校の特別支援学級では、JA西三河の全面的なバックアップのもと、年間を通じて米作りの体験活動を行っています。

今回、子どもたちが米作り体験の際に東海農政局より配布された、FOOD ACTIO N NIPPONのシールブックの内容で「米粉」に興味を持ちはじめたことから、先生が「みたらしだんご」づくりの特別授業を発案。

そして「みたらしだんご」づくりについて、地域の米粉製造業者である黒柳製粉(株)の黒柳建治社長に協力を依頼したところ、社長も快諾されたことから、7月13日、黒柳社長(写真上中央)の指導により、「みたらしだんご」づくりの特別授業が行われました。

当日は子どもたちの保護者や、米作りを指導しているJA西三河の担当者も参加し、にぎやかな雰囲気の中、授業開始です。

まずは米粉を水で練り、適当

な大きさにちぎって団子を整形し、竹串に刺した後、沸騰した湯が入った鍋で火を通していきます。

黒柳社長は「テーブルの間を回って、ちょうど良い固さになっていくかなど、丁寧に指導し回っていました。」

次に水で冷やした団子を、焼き台で焼いていき「みたらし」のタレをつけて完成。

早速、美味しく子どもたちも食べて、家へのお土産も含め、それぞれ思いのこもった「みたらしだんご」を作り上げました。

参加した保護者も団子から焼き上げるまでを経験した



方は少なく、子どもと一緒に体験を始めていきました。

9月10日には体験中の米作りで稲刈りを実施した同小。

今後、収穫した米の一部を米粉にし、子どもたちが別の料理を体験していることができないか、検討していることです。

記事：東海農政局消費生活課

めざましごはんでジンセイ変わるよ！

AKB48のパワーと集中力のもと朝ごはん！

官民共同で推進されている「めざましごはん」キャンペーン。今回はAKB48をイメージキャラクターに迎え、朝ごはんの推進活動を展開中です。

めざましごはんホームページ↓
<http://www.maff.go.jp/j/soushoku/akou/mezamas.html>

また、脳科学者で東北大学教授の川島隆太氏も登場。川島教授は、ホームページ上で朝ごはん習慣の有無で脳機能に明らかなる差があり、なんと「年収とも有意な関連がある」など、ちょっと興味深いお話もされています！
<http://www.maff.go.jp/j/soushoku/akou/mezamas/about/databox.html>



★試験販売★ 「とよた五平餅学会」の車型五平餅

—とよた五平餅学会（愛知県豊田市）—



豊田市にちなんだ形の車型の五平餅 (写真)



五平餅を「豊田ブランド」として特産化するため、豊田市内の55店舗の五平餅屋が加盟している「とよた五平餅学会」。

農水省の事業をきっかけに、昨年よりスタートしたこの活動は、国産農産物の需要拡大、食料自給率の向上、地域活性化、観光資源開発を目的としています。

同会事務局（資）野田味噌商店では、同社の直売店前で五平餅の露店を併設し、月一回程度の試験販売を行っています。

「食文化を継承するという、高き志を持ち、根の張った活動を続けていきたい。」という同社。10月16日にも同所で販売するほか、12月5日にはJAの農業祭りにも出展予定だそうです。

記事：東海農政局消費生活課